



## トラブルシューティング



**重要** **Enterprise Manager** は廃止されました。[Security Cloud Control](#) を使用して ID プロバイダーの統合を管理できるようになりました。詳細については、[ID プロバイダー統合ガイド](#)を参照してください。

既存の ID プロバイダー統合データはすべて、[Security Cloud Control](#) を介して使用できます。

- [シングルサインオン/SAML のエラー](#) (1 ページ)
- [エンタープライズウィザードのエラー](#) (2 ページ)
- [シスコのセキュリティ製品との統合](#) (2 ページ)

## シングルサインオン/SAML のエラー

### 統合のテストでの HTTP 400 エラー

エンタープライズ設定ウィザードでの [IdP 統合のテスト](#) で HTTP 400 エラーが発生する場合は、次のトラブルシューティング手順を試してください。

### ユーザーのサインオン電子メールアドレスメインが申請したドメインと一致することを確認する

テストに使用しているユーザーアカウントの電子メールアドレスメインが [申請したドメイン](#) と一致していることを確認してください。

たとえば、example.com のような最上位ドメインを申請した場合、ユーザーは <username>@signon.example.com ではなく <username>@example.com でサインインする必要があります。

### SAML 応答の <NameID> 要素が電子メールアドレスであることを確認する

SAML 応答の <NameId> 要素の値は電子メールアドレスでなければなりません。電子メールアドレスは、ユーザーの SAML 属性で指定された **email** と一致する必要があります。詳細については、「[SAML 応答の属性](#)」を参照してください。

### SAML 応答に正しい属性要求が含まれていることを確認する

IdP から Security Cloud Sign On への SAML 応答には、必須のユーザー属性である **firstName**、**lastName**、および **email** が含まれます。詳細については、「[SAML 応答の要件](#)」を参照してください。

### IdP からの SAML 応答が SHA-256 で署名されていることを確認する

ID プロバイダーからの SAML 応答は、SHA-256 署名アルゴリズムで署名する必要があります。Security Cloud Sign On は、署名されていないアサーションまたは別のアルゴリズムで署名されたアサーションを拒否します。

## エンタープライズウィザードのエラー

### ドメインの検証時のエラー

[電子メールドメインの検証](#) でエラーが発生する場合は、次のトラブルシューティング手順を試してください。

#### しばらく待ってから再試行する

しばらく待ってから、もう一度 [検証 (Verify)] をクリックしてみてください。DNS レコードの更新が DNS サーバーに伝達されるまでの時間は、サービスプロバイダーによって異なります。

### TXT DNS レコードの名前と値を確認する

ドメインレジストラで作成した TXT DNS レコードの名前と値がエンタープライズ設定ウィザードで表示される内容と一致することを確認してください。

### シングルサインオンのテスト時のエラー

[統合のテスト](#) でエラーが発生する場合は、SAML 設定の問題やユーザーアカウントの問題である可能性があります。トラブルシューティングの手順については、[シングルサインオン/SAML のエラー \(1 ページ\)](#) を参照してください。

## シスコのセキュリティ製品との統合

### シスコのセキュリティ製品でのサインオンのエラー

Security Cloud Sign On にはサインオンできるがシスコのセキュリティ製品の 1 つ以上にサインオンできない場合は、次の点を確認してください。

### Security Cloud Sign On のオプションが必要な製品かどうかを確認する

シスコのセキュリティ製品には、Cisco Umbrella のように Security Cloud Sign On がデフォルトでサポートされる製品もあれば、オプションが必要な製品もあります。オプションが

必要なシスコのセキュリティ製品については、[サポートされるセキュリティ製品](#)のリストで確認できます。

### Security Cloud Sign On の識別情報が製品の識別情報と一致することを確認する

各ユーザーの Security Cloud Sign On の識別情報（電子メール）が製品の識別情報と一致する必要があります。たとえば、**user@example.com** というユーザー名の Security Cloud Sign On アカウントがあるとします。この Security Cloud Sign On アカウントを使用して Umbrella で正常に認証するには、同じ電子メールを持つ既存の Umbrella アカウントが必要です。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。